

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：密粒度アスコン(20)改質アスファルトⅡ型

2026年 2月

鳥取アスコン 株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
碎石5号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
碎石6号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
碎石7号	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
粗砂	住若海運株式会社	佐賀県唐津市	天然砂
細砂	有限会社仁徳砂利	鳥取市伏野	天然砂
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	石灰岩粉末
ポリマー改質アスファルトII型	日進化成株式会社	岡山県玉野市玉原	改質II型

2. 配合割合

材料名	碎石5号	碎石6号	碎石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉					AS	計
室内配合%	13.2	22.7	12.3	20.3	9.5	12.3	4.3					5.4	100.0
ビン名	1ビン	2ビン	3ビン	4ビン	回収ダスト	石粉						AS	計
現場配合%	40.2	15.1	19.9	13.2	1.9	4.3						5.4	100.0

3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過質量百分率%				100.0	99.8	87.1		62.5	47.6		28.4	19.1	7.5	6.1
粒度範囲	上限			100	100	90		65	50		30	21	16	8
	下限			100	95	75		45	35		18	10	6	4

4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm ³)	理論密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー (1/100cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.4	2.390	2.486	3.9	76.2	11.37	32	92.0
基準値	上限			6	85		40	
	下限			3	70	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨 材 粒 度 設 計

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度

骨 材		砕石5号	砕石6号	砕石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉	
配合率 A %		14.0	24.0	13.0	21.5	10.0	13.0	4.5	
通過質量百分率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5	100.0							
	19	98.6	100.0						
	13.2	10.1	98.8	100.0		100.0			
	9.5								
	4.75		5.1	95.1	100.0	99.1			
	2.36			11.8	91.9	87.8	100.0		
	1.18								
	600 μm				34.8	34.9	99.0		
	300				19.7	11.8	70.8	100.0	
	150				10.8	2.7	4.1	98.0	
75				8.7	1.0	1.0	87.8		

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)									合 成	目 標
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5	14.0								100.0	100.0
19	13.8	24.0							99.8	97.5
13.2	1.4	23.7	13.0		10.0				87.1	82.5
9.5										
4.75		1.2	12.4	21.5	9.9				62.5	55.0
2.36			1.5	19.8	8.8	13.0			47.6	42.5
1.18										
600 μm				7.5	3.5	12.9			28.4	24.0
300				4.2	1.2	9.2	4.5		19.1	15.5
150				2.3	0.3	0.5	4.4		7.5	11.0
75				1.9	0.1	0.1	4.0		6.1	6.0

骨材の粒径加積曲線図

目的配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

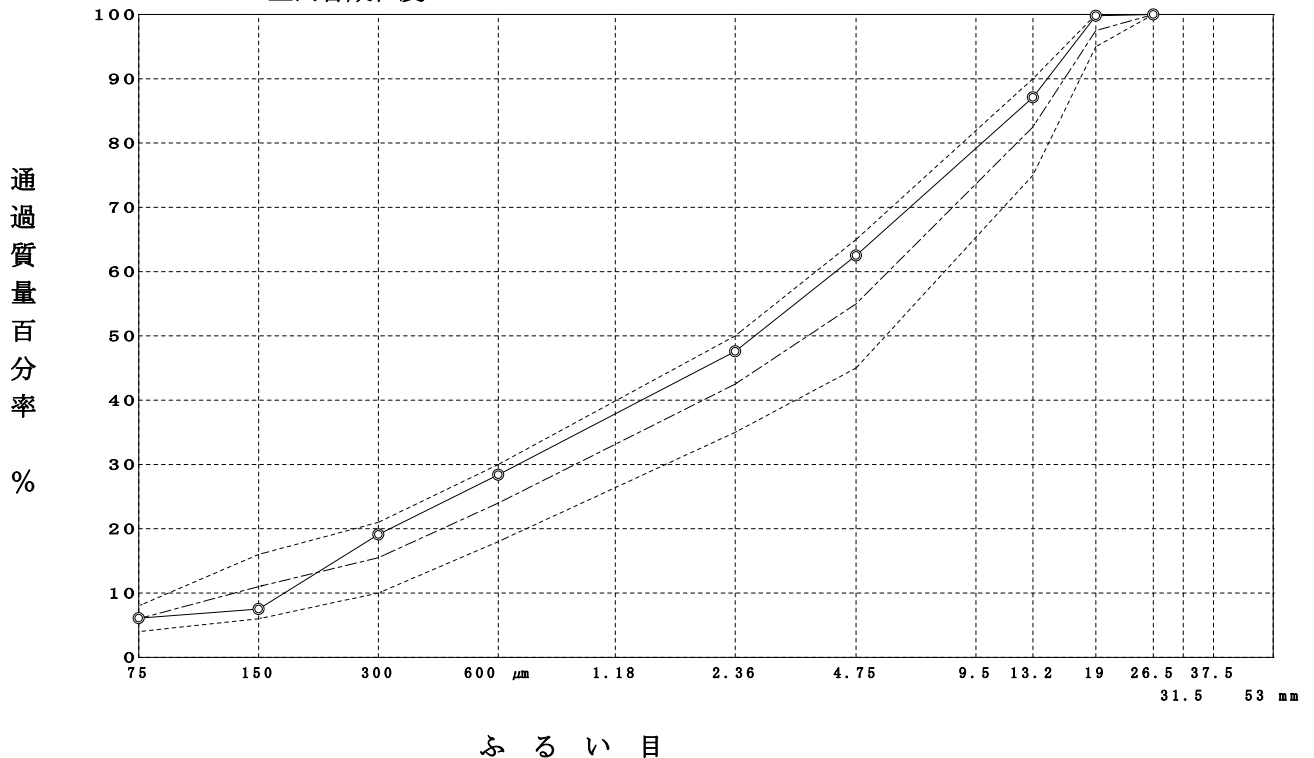
試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
		室内合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5		100.0	100.0	100
19		99.8	97.5	95 ~ 100
13.2		87.1	82.5	75 ~ 90
9.5				
4.75		62.5	55.0	45 ~ 65
2.36		47.6	42.5	35 ~ 50
1.18				
600 μm		28.4	24.0	18 ~ 30
300		19.1	15.5	10 ~ 21
150		7.5	11.0	6 ~ 16
75		6.1	6.0	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲
 - - - - 目標粒度
 ——— 室内合成粒度



理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 骨材の密度 (g/cm ³)			④ 計算に用いる密度	⑤ ②/④
		表	乾	かさ 見掛		
碎石5号	14.0	2.686	2.670	2.714	2.714	5.158
碎石6号	24.0	2.681	2.660	2.715	2.715	8.840
碎石7号	13.0	2.672	2.646	2.716	2.716	4.786
砕砂	21.5	2.647	2.602	2.724	2.724	7.893
粗砂	10.0	2.593	2.557	2.653	2.653	3.769
細砂	13.0	2.588	2.545	2.661	2.661	4.885
石粉	4.5			2.700	2.700	1.667
Σ②=	100.0				Σ⑤=	36.998

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルトの密度	⑧ ⑥/⑦	⑨ $\frac{\Sigma⑤(100-⑥)}{100}$	⑩ ⑧+⑨	⑪ 理論最大密度 100/⑩	
4.5	1.032	4.360	35.333	39.693	2.519	
5.0		4.845	35.148	39.993	2.500	
5.5		5.329	34.963	40.292	2.482	
6.0		5.814	34.778	40.592	2.464	
6.5		6.298	34.593	40.891	2.446	
5.4		5.233	35.000	40.233	2.486	

マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 ポリマー改質アスファルトII型 アスファルトの密度(A) 1.032 アスファルトの温度 180 ℃ 骨材の温度 200 ℃

突固め温度 160 ℃ 突固め回数 50 回 力計の係数(B) 0.1187

供試体条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	安定フロー値 (kN/m)	
		アスファルト量%	供試体寸法					空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	密度		アスファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度			フロー値 (kN)
			厚さ (cm)									かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)					読み (kN)	安定度 (kN)		
			1	2	3	4	平均														
標準	1	4.5	6.26	6.26	6.25	6.26	6.26	1217.4	703.6	1218.6	515.0	2.364							89	10.56	27
	2		6.45	6.44	6.44	6.45	6.45	1219.2	705.0	1220.5	515.5	2.365							85	10.09	27
	3		6.40	6.41	6.42	6.41	6.41	1219.5	703.7	1220.7	517.0	2.359							94	11.16	28
	平均												2.363	2.519	10.3	6.2	16.5	62.4		10.60	27
標準	4	5.0	6.42	6.42	6.40	6.40	6.41	1223.6	709.5	1224.5	515.0	2.376							95	11.28	30
	5		6.26	6.25	6.26	6.26	6.26	1222.4	708.6	1223.3	514.7	2.375							94	11.16	29
	6		6.27	6.27	6.27	6.27	6.27	1225.9	710.5	1226.9	516.4	2.374							94	11.16	29
	平均												2.375	2.500	11.5	5.0	16.5	69.7		11.20	29
標準	7	5.5	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	1231.4	717.9	1232.1	514.2	2.395							96	11.40	30
	8		6.37	6.37	6.38	6.37	6.37	1228.9	714.0	1229.7	515.7	2.383							93	11.04	34
	9		6.41	6.42	6.40	6.40	6.41	1230.4	718.6	1231.3	512.7	2.400							98	11.63	33
	平均												2.393	2.482	12.8	3.6	16.4	78.0		11.36	32
標準	10	6.0	6.45	6.44	6.43	6.44	6.44	1234.0	722.8	1234.4	511.6	2.412							94	11.16	37
	11		6.42	6.43	6.42	6.42	6.42	1232.3	717.1	1232.6	515.5	2.390							90	10.68	36
	12		6.39	6.41	6.40	6.40	6.40	1235.1	722.0	1235.6	513.6	2.405							94	11.16	37
	平均												2.402	2.464	14.0	2.5	16.5	84.8		11.00	37
標準	13	6.5	6.29	6.29	6.27	6.28	6.28	1242.8	725.8	1243.0	517.2	2.403							86	10.21	42
	14		6.42	6.42	6.43	6.42	6.42	1243.8	724.0	1244.0	520.0	2.392							84	9.97	41
	15		6.43	6.42	6.42	6.43	6.43	1242.5	722.7	1242.8	520.1	2.389							84	9.97	46
	平均												2.395	2.446	15.1	2.1	17.2	87.8		10.05	43

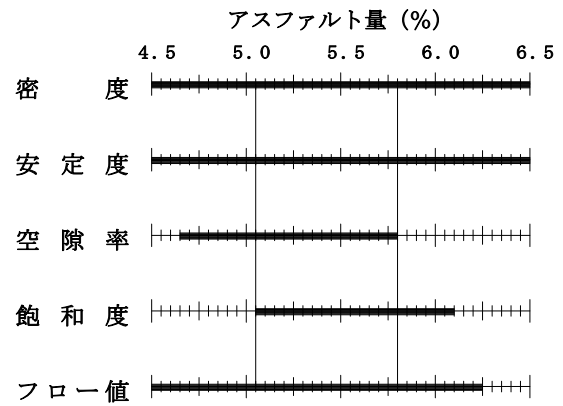
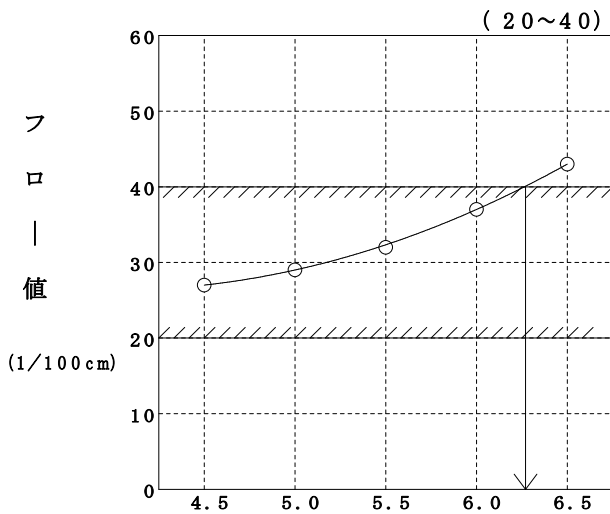
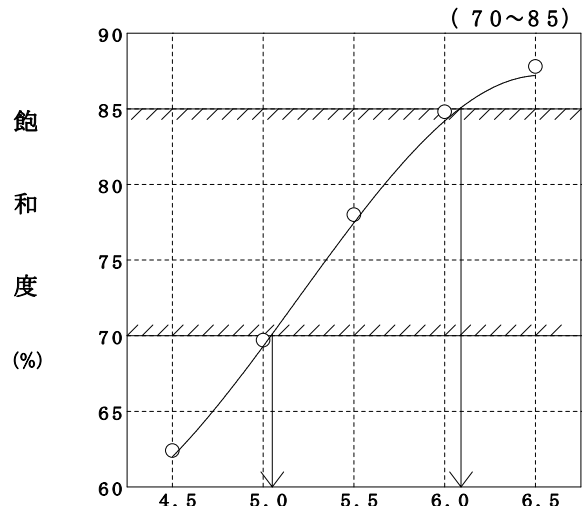
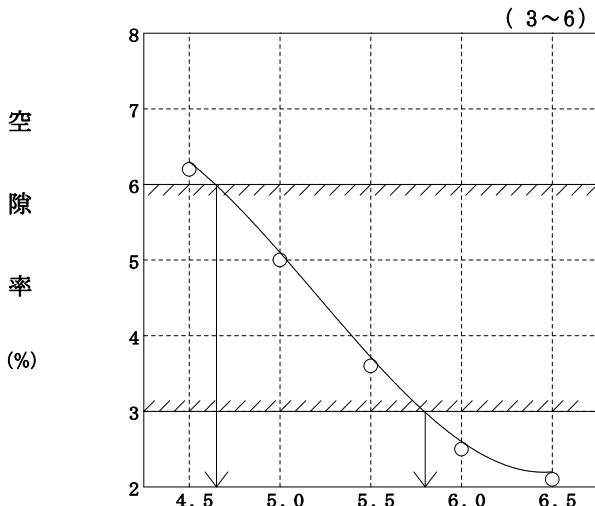
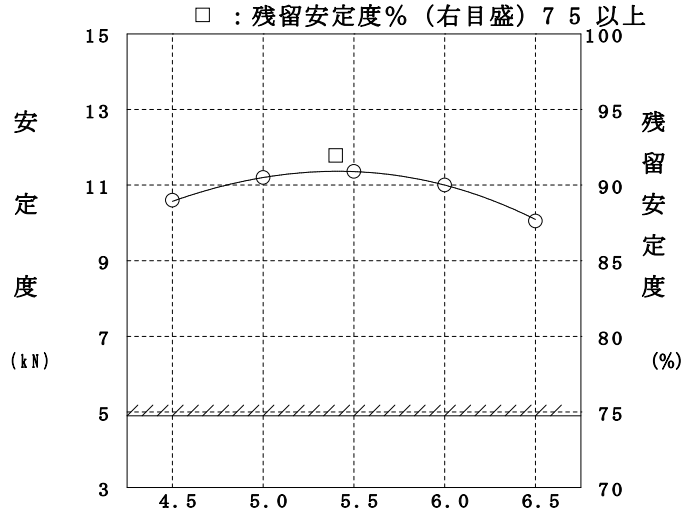
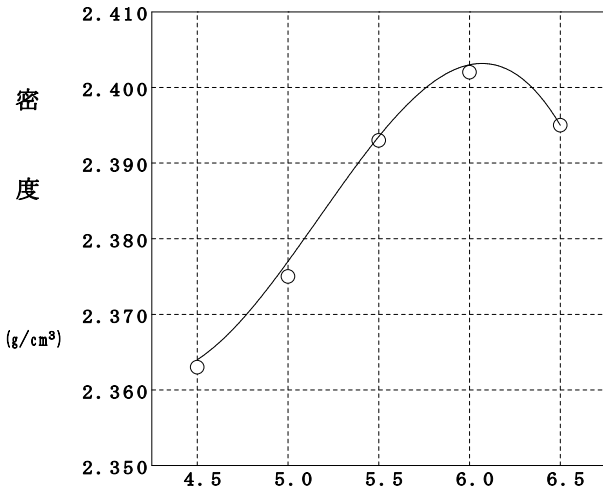
設計アスファルト量の決定

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20) 改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫



共通範囲 5.05 ~ 5.80 (%)

設計アスファルト量 5.4 (%)

アスファルト量 (%)

ホ ッ ト ビ ン 粒 度 設 計

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

3. 使用予定骨材の合成粒度

骨 材		1ピン	2ピン	3ピン	4ピン	回収ダスト	石粉		
配合率 A %		42.5	16.0	21.0	14.0	2.0	4.5		
通 過 質 量 百 分 率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5				100.0				
	19			100.0	99.1				
	13.2		100.0	99.3	10.5				
	9.5								
	4.75	100.0	86.5	0.2					
	2.36	96.5	0.5						
	1.18								
	600 μm	48.2				100.0			
	300	27.1				99.1	100.0		
	150	4.0				87.0	98.0		
75	1.5				69.0	87.8			

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)								合 成	設 計
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5				14.0				100.0	100.0
19			21.0	13.9				99.9	99.8
13.2		16.0	20.9	1.5				87.4	87.1
9.5									
4.75	42.5	13.8	0.0					62.8	62.5
2.36	41.0	0.1						47.6	47.6
1.18									
600 μm	20.5				2.0			27.0	28.4
300	11.5				2.0	4.5		18.0	19.1
150	1.7				1.7	4.4		7.8	7.5
75	0.6				1.4	4.0		6.0	6.1

ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

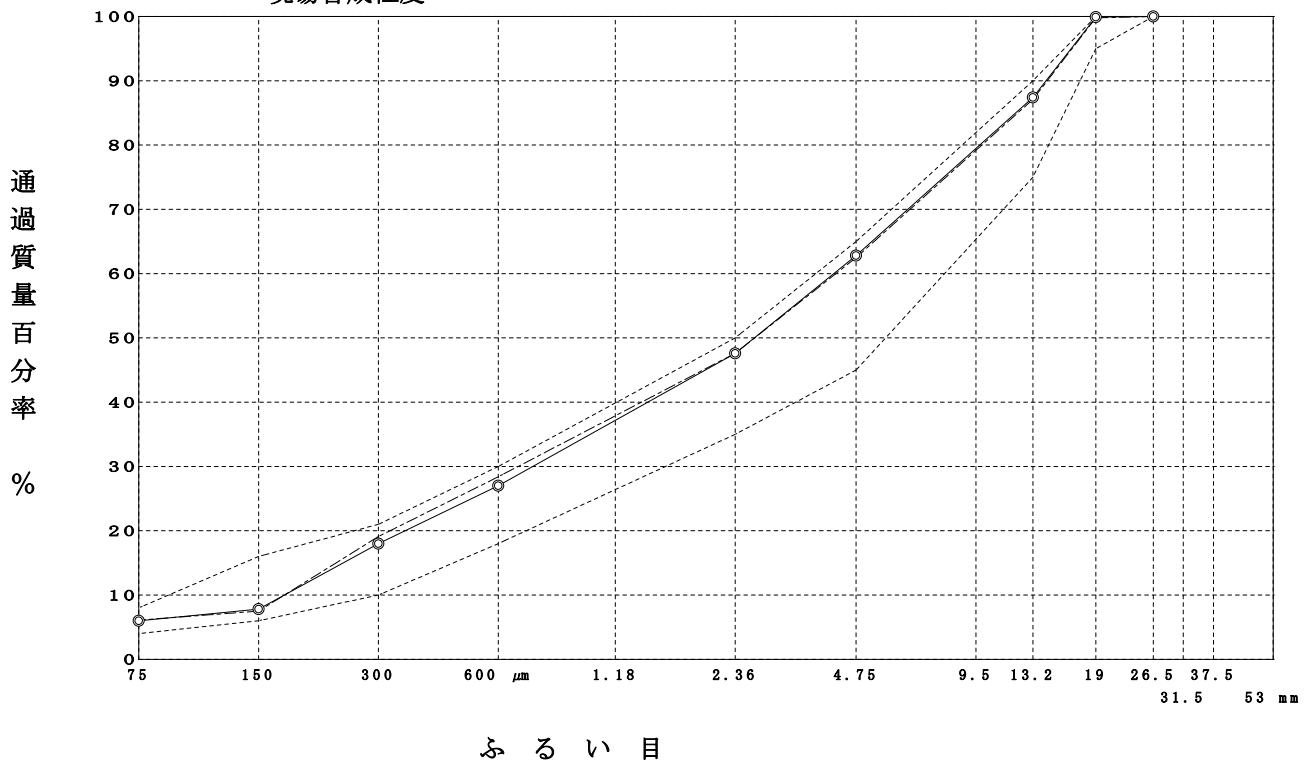
試験者 大西 康夫

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
		現場合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5		100.0	100.0	100
19		99.9	99.8	95 ~ 100
13.2		87.4	87.1	75 ~ 90
9.5				
4.75		62.8	62.5	45 ~ 65
2.36		47.6	47.6	35 ~ 50
1.18				
600 μm		27.0	28.4	18 ~ 30
300		18.0	19.1	10 ~ 21
150		7.8	7.5	6 ~ 16
75		6.0	6.1	4 ~ 8

6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲
 - - - - - 目標粒度
 ———— 現場合成粒度



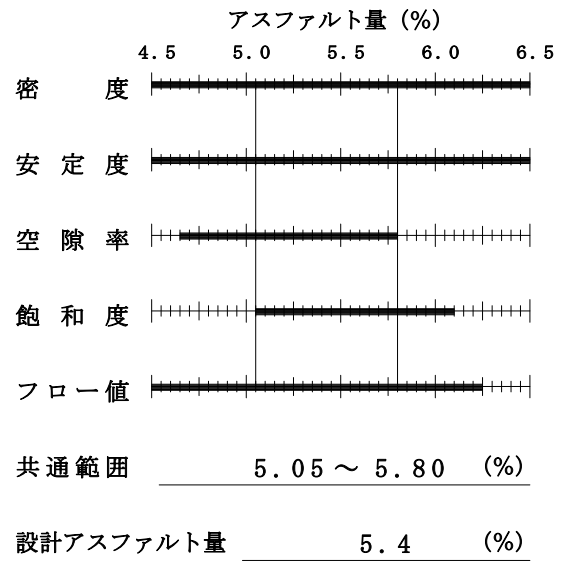
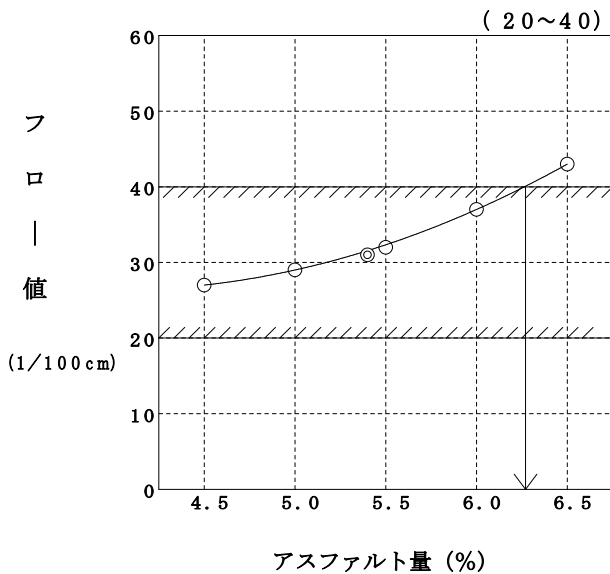
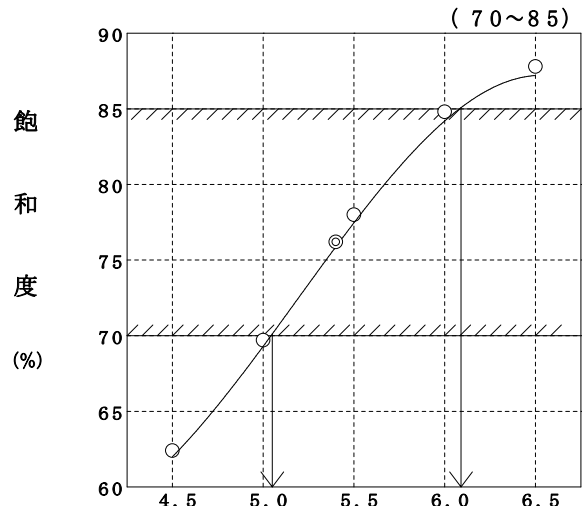
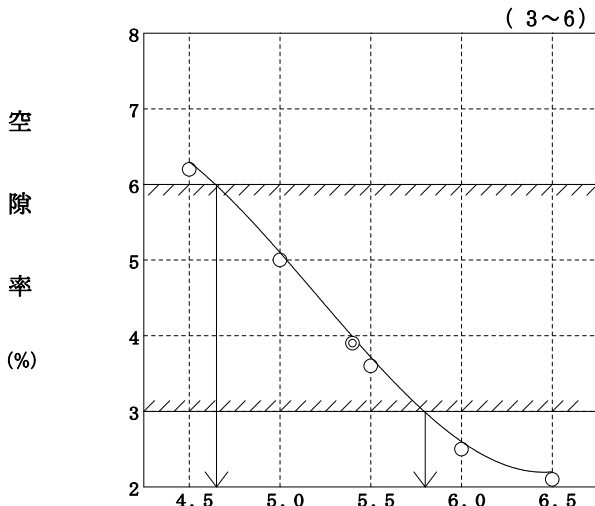
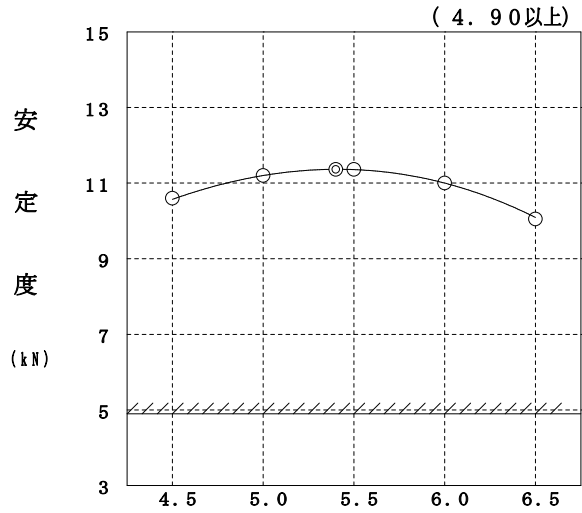
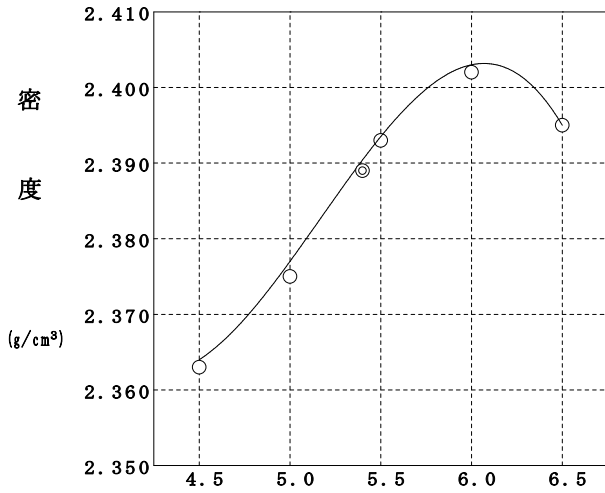
マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20) 改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫



現場 マーシャル安定度試験 (中温化)

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 ポリマー改質アスファルトII型 アスファルトの密度 (A) 1.032 アスファルトの温度 180℃

骨材の温度 200℃ 突固め温度 -℃ 突固め回数 50回 力計の係数 (B) 0.1187kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
		突固め温度 (°C)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	密度 (g/cm³)	理論 (g/cm³)	ア容スファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度力計の読み (kN)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	安定度/フロー (kN/m)	
							⑤-④	③/⑥		①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑫/⑬×100		(B)×⑭			
標準	1		6.39	1229.9	718.8	1230.6	511.8	2.403						96	11.40	34		
	2	140	6.38	1228.8	716.0	1229.5	513.5	2.393						101	11.99	30		
	3		6.27	1231.9	719.7	1232.6	512.9	2.402						98	11.63	33		
		As量 5.4																
		平均						2.399	2.486	12.6	3.5	16.1	78.3		11.67	32	3647	
標準	4		6.45	1230.2	719.9	1231.0	511.1	2.407						99	11.75	31		
	5	130	6.42	1229.9	715.3	1230.5	515.2	2.387						94	11.16	32		
	6		6.26	1228.7	716.3	1229.3	513.0	2.395						99	11.75	33		
		As量 5.4																
		平均						2.396	2.486	12.5	3.6	16.1	77.6		11.55	32	3609	
標準	7		6.36	1233.3	720.3	1234.0	513.7	2.401						96	11.40	34		
	8	120	6.36	1233.0	715.1	1233.8	518.7	2.377						97	11.51	30		
	9		6.33	1230.9	716.0	1231.5	515.5	2.388						93	11.04	31		
		As量 5.4																
		平均						2.389	2.486	12.5	3.9	16.4	76.2		11.32	32	3538	
標準	10		6.26	1232.0	715.8	1232.8	517.0	2.383						90	10.68	34		
	11	110	6.39	1229.4	711.8	1230.1	518.3	2.372						87	10.33	33		
	12		6.36	1230.6	713.1	1231.2	518.1	2.375						86	10.21	32		
		As量 5.4																
		平均						2.377	2.486	12.4	4.4	16.8	73.8		10.41	33	3155	
	平均																	

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7} / \textcircled{8}) \times 100$$

現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

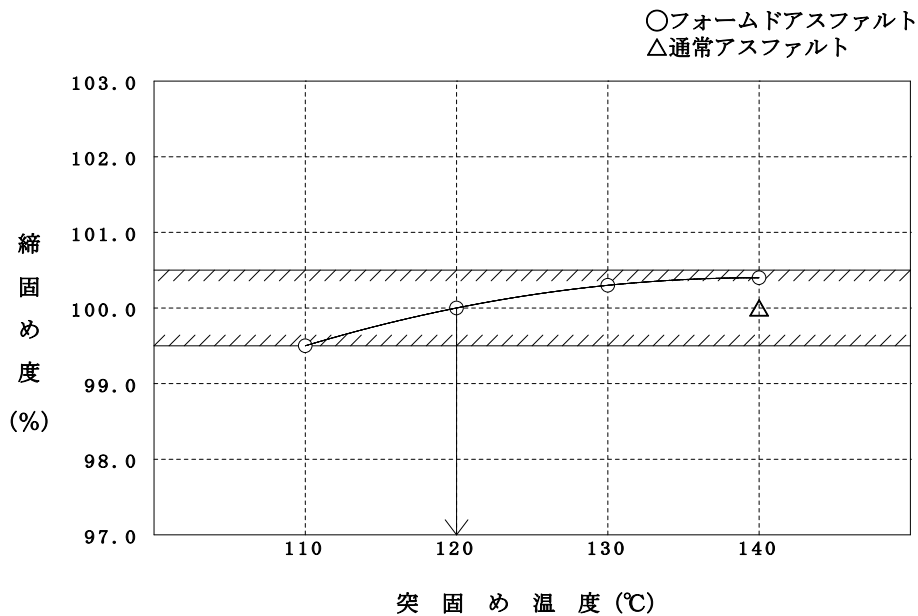
混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、縮固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。

縮固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目				理論密度 (g/cm ³)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	縮固め度 (%)
フォームドアスファルト	突固め温度	As量	規格	—	—	3~6	70~85	4.90以上	20~40	—
未使用	140℃	5.4%		2.486	2.389	3.9	76.2	11.36	31	100.0
使用	140℃			2.486	2.399	3.5	78.3	11.67	32	100.4
使用	130℃			2.486	2.396	3.6	77.6	11.55	32	100.3
使用	120℃			2.486	2.389	3.9	76.2	11.32	32	100.0
使用	110℃			2.486	2.377	4.4	73.8	10.41	33	99.5



グラフより、

縮固め度100.0%が得られる突固め温度は120℃となった。

縮固め度99.5%~100.5%が得られる突固め温度は110℃~140℃となった。

現場 突固め下限温度でのマーシャル安定度試験

目 的 配 合 設 計
試験年月日 2026年 2月25日
混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型
試 験 者 大西 康夫

アスファルトの種類 ポリマー改質アスファルトII型
アスファルトの密度 (A) 1.032
アスファルトの温度 140℃
骨材の温度 160℃
突固め温度 120℃
突固め回数 50回
力計の係数 (B) 0.1187kN

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	⑯	
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	かさ (g/cm³)	理論 (g/cm³)	ア容スファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	安定度/フロー (kN/m)
						⑤-④	③/⑥	①×⑦ (A)			⑨+⑩	⑫/⑬×100	⑭×⑮				
標準	1	6.33	1231.8	714.2	1232.4	518.2	2.377						99	11.75	32		
	2	6.39	1229.9	718.5	1230.7	512.2	2.401						96	11.40	29		
	3	6.44	1232.4	716.9	1233.0	516.1	2.388						93	11.04	31		
	平均							2.389	2.486	12.5	3.9	16.4	76.2		11.40	31	3677
	平均																
	平均																
	平均																

⑩ = (1 - ⑦/⑧) × 100

現場配合の決定

目的配合設計

試験年月日 2026年 2月25日

混合物の種類 密粒度アスコン(20)改質アスファルトII型

試験者 大西 康夫

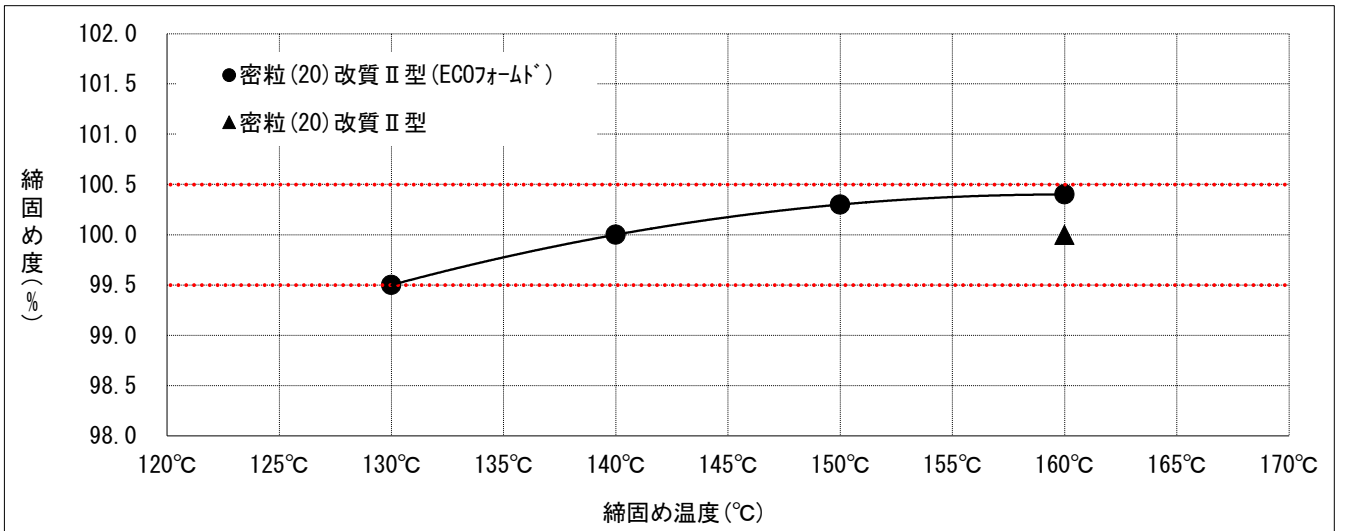
1バッチ 1000 kg

	骨材配合比(%)	設計アスファルト量(%)	プラント配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
1 ビン	42.5		40.2	402	402
2 ビン	16.0		15.1	151	553
3 ビン	21.0		19.9	199	752
4 ビン	14.0		13.2	132	884
回収ダスト	2.0		1.9	19	19
石粉	4.5		4.3	43	43
アスファルト		5.4	5.4	54	54
合計	100.0		100.0	1000	1000

フォームド混合物の温度管理目標値一覧

混合物の締固め特性

項目	規格値	混合物の種類					
		密粒(20)改質Ⅱ型	密粒(20)改質Ⅱ型(ECOフォーム [®])				
締固め温度	°C	-	160°C	160°C	150°C	140°C	130°C
密度	g/cm ³	-	2.389	2.399	2.396	2.389	2.377
締固め度	%	-	100.0	100.4	100.3	100.0	99.5
空隙	%	3~6	3.9	3.5	3.6	3.9	4.4
安定度	kN	7.35以上	11.36	11.67	11.55	11.32	10.41
フロー	1/100cm	20~40	31	32	32	32	33



温度管理目標値

	低減温度	°C	0	10	20	30
	夏季	出荷温度	°C	180±10	170±10	160±10
敷均温度		°C	160以上	150以上	140以上	130以上
初期転圧温度		°C	160±10	150±10	140±10	130±10
冬季	出荷温度	°C	180±10	170±10	160±10	150±10
	敷均温度	°C	160以上	150以上	140以上	130以上
	初期転圧温度	°C	160±10	150±10	140±10	130±10

※上記の温度管理目標値につきましては、当プラントの推奨する温度であり、規格値ではありませんのでご注意ください。
 ※現場条件（現場までの距離・施工方法・気象条件）等が異なるため、温度範囲につきましては、所定の締固め度が得られる範囲内で、各現場毎に検討して下さい。

調査名・目的	測定年月日
密粒度アスコン(20)改質II型	2026年2月25日
混合物の種類 (ECO7ホーム [®])	
バインダー量	改質AsII型: 5.4%
	試験者 尾田 崇馬
走行方式	クランク式・チェーン式
タイヤゴム硬度	78±2
載荷荷重	686N
載荷方法	垂直式・空気圧式・その他
供試体の種類	現場切取・現場作製・室内作製
室内養生	12時間
供試体の寸法	長さ300 幅300 厚さ50 (mm)
走行回数	(A) 42回/分
試験温度	60℃ 養生時間 6時間
試験時間	60分 (B) 基準密度 2.390 g/cm ³

供試体番号			1	2	3	平均		
供試体作製	① 供試体質量 (g)		10759	10752	10755			
	② 水中質量 (g)		—	—	—			
	③ 供試体体積 (cm ³)		4500	4500	4500			
	④ 供試体密度 (g/cm ³)		①/③	2.391	2.389	2.390	2.390	
	⑤ 締固め度 (%)		④/(B)*100	100.0	100.0	100.0	100.0	
ホイールトラッキング試験	走行時間 (分)	0	変形量 (mm)	⑥ d 0				
		5		⑦ d 5				
		10		⑧ d 10				
		15		⑨ d 15				
		30		⑩ d 30				
		45		⑪ d 45	1.35	1.38	1.48	
		60		⑫ d 60	1.50	1.52	1.62	
	⑬ 変形量の差 (mm)		⑫-⑪	0.15	0.14	0.14	⑭ 0.14	
	⑮ DS (回/mm)		(A)*15/⑬	4200	4500	4500		
	⑯ 平均DS (回/mm)		(A)*15/⑭				⑰ 4500	
	⑱ 平均値との差の平方		(⑰-⑮) ²	90000	0	0	Σ⑲ 90000	
	⑳ 標準偏差		$\sqrt{(\Sigma ⑲)/(n-1)}$	—	—	—	212	
	㉑ 変動係数 (%)		⑲/⑰*100	—	—	—	㉒ 4.7	
㉓ 圧密変形量 d o (mm)		⑪*4-⑫*3	0.90	0.96	1.06	0.97		
時間-変形量曲線の形状			1 上凸型 2 直線型 3 変曲型					

備考